

今月の人

人材バンクより南国市の生涯学習に深く寄与して下さる方を紹介していきます。今回は中澤八重子さんです。



中澤八重子さん (天埔) 芸術文化

昭和50年に日本舞踊を始められた中澤さん。稽古のかいあって、55年に士名取りの試験に見事合格。現在でも、よほどのことがない限り、毎週1回の練習を欠かしません。

もともと日本文化に興味があったということで、日舞の他にも、和楽器を使った土佐のまほろは囃子へも参加しています。

日舞は奥が深く、追求すればするほど興味を引かれるという中澤さん「趣味で始めた日舞が皆さんの役に立てばいい。今は、たまに友人に教えてあげるくらいですが、たくさんの人とふれあいながら勉強して、いきたい」そうです。

女優山田五十鈴の「役者は死ぬまで現役」という言葉に感銘したそうで、できる限り日舞を続けたいとのこと。

短歌

年金はありがたいねと病む夫の
手足となりて明るく看とる
西島 岡村 きよ

風はやき岡豊城跡の崖ざわに
三枝の黄花香にさきながく
岡豊町 武蔵 信子

知らぬ間に桃の節句もすぎ去りて
春の息吹は視野に広がる
植野 原 茂寿

明日なきと思えば闇に目を開き
光求めん生ある限り
十市 加川 須磨

ゴム故に田に植林し四一五
故郷の杉唯伸びるのみ
大埔島 光則

俳句

沈丁花愛しきによい朝日かな
十市 北村あい子

磯の香握りし砂の暖かく
植野 原 忠男

小枝摘みて日当りは良し寒椿
浜改田 津淵 保

北山の一点の灯に嘆き込めり
福船 大島 新草

春一番瀬戸の小島を吹き寄せる
里改田 山岡 みよ

菜の花に囲まれ肩身狭くいる
堀ノ内 北岡 高子

口紅のや、濃ゆかりし難の面
大埔 竹田 明代

下駒や道草はじむ下枝の子
下末松 松浦智恵子

春光の満つ野を眺め病み籠もる
藤原 橋本きよ女

火の空風掃ぐるは女消防士
植野 中上日出子

湯水をあつめて温き種井かな
西山 岩貞 房子

数梅のひらひら舞へるグムの風
稲生 山岡 多恵

指染めて棚田の草を摘みにけり
稲生 中沢 道子

川柳

生きてゐる限り青春道連れに
十市 沢村 純一

本型よ何時去ぬらのか桃節句
鎌ヶ丘 加美 寿龜

火災・救急

《火災》		《救急》	
発生件数	9件	出動回数	115回
建物	3件	急病	58回
山林	1件	交通事故	27回
その他	5件	一般事故	11回
被害額	4,145万円	その他	19回

(平成7年2月分)

市の統計

面積	125.11k㎡
人口	41,261人 (±0)
男	21,079人 (±0)
女	20,182人 (±0)
世帯数	11,966世帯 (+7)

()内は前月比
《平成7年2月18日現在》

まほろは

一月いぬる、二月は逃げる、三月去るのたとえの通り、早や四月を迎えた。早春の日のヌエ(とらつくみ)のヒヨーヒヨーと呼ぶ声も、ふくいくとした梅の香りもいつしか去って、今や春はまさに春らんまん。岡豊山の本丸跡に立つて俯瞰すると、桜花の向こうにかすむ南国市の中心部、左右に広がる香長平野、さらに望見する土佐湾、陽光のもと我が南国市の自然は美しく豊かである。こうした自然界の中にあつて、この時季、人間界はあわただしい。新しい年度の始まりである。南国市も三月議会でも年間予算が議決され、平成七年度の市政が発足した。年度が変われば心機一転、市政の飛躍を市民は期待している。市役所も人事異動配置替えがあり、職員の方々は戸惑いと喜び、希望と決意が交錯するではなからうか。それこそ心機一転(活躍)をお祈りする、市民の皆さんの中にも進学、就職、転勤など、人生の転機を迎えた人も多かろう。人は正月を静かに迎え、四月を飛躍的に迎える。春は自然への思いにとどめ、春は喜びの季節でありたい。

(田)

広報は、地区連絡員さんたちのご協力で皆さんの家庭にお届けしています。